

私たちの宗教は
他者です!

Fátima

Canalizada por Fernando Ben



Casa de Fátima
Instituto do Estudo
da Filosofia de Fátima

私たちの宗教は他者です！

por *Fernando Ben*

CATALOGAÇÃO PREPARADA NA
PRÓPRIA EDITORA

Ben, Fernando

私たちの宗教は他者です！ | Fernando Ben

Rio de Janeiro, RJ: IEFF, 2022, 71 páginas;
14x21 cm

978-65-996773-7-3 by IEFF

Título: **私たちの宗教は他者です！** – Abril
de 2022. Publicado no Brasil Published in Brazil

Correção ortográfica: Rosana Andrade

Organização da Tradução: Natácia Iora
Kitagawa

Tradução do Livro para o Japonês: Mika Aya

Arte da capa: Andrea Modesto

Miolo e edição: Adriana Monteiro

前書き

この作品は、シンプルで、客観的で、明確で、深く、要点をダイレクトにファティマ教授の再構築の力をもたらします。

これを段落ごとに習得してみてください。各部、それ自体があなたにアイデアと知識を身に着けることが出来るでしょう。

ファティマ教授は非常に高いレベルにあるため、彼女の転生への解釈は容易ではありません。他者が私たちの神であるという考えの基、

霊性の意味を彼女は明格に断片化された情報を使用して自分自身の先入観、推定、差別から解放された人々が、彼女の考えを理解できます。

より明確な方法で、本当の宗教的

概念の構築を図り、他者を導きながら神との巡り会いの重要なポイントとします

。

出版に携わったすべての人々の努力が、この非常に不平等で不公平な世界において、視点と行動の変化を求める価値がありますように。

このような社会的行動はこの地球上の愛と平和の真の発展の元です！

Aluizio Fonseca

第1章-想像力

この作品を読むときは、今までと別の視点で見てください。解釈を広げて今までの考え方と異なる目で世界を見てみましょう。

私は、多くの困難を経験しており限界を超えた人々の助けになればと思いますが、決して自分が優れていると感じているわけではありません。

他者とのコミュニケーションの難しさを伝えられたらと思います。

次に重要な要素は、自分自身を見つめ直す時、軽薄な、非道な、見せかけの、自分も見えてきますが自分を決定づけるのは自分だけでないと知ってください。

世の中を知ることには慣れたが、想像も他の方法で知ることが出来ることに

気づくでしょう。

想像について言えば、男性は権力の基盤であり、全ての子供たちは表現の自由がなかった時代。

人々の思いは他の人がもたらしたインスピレーションが大きな思いになり一部が生成され、もう一部が知識や愛が溢れていました。

このもう一つは神と呼ばれるようになり、人は神を父として表現しました。

自分がいるところから自由に行動できることで、他の要素と衝突し、近い将来、彼らが人生と呼ぶもの。

そして、ここに私たちの永遠の知覚を通して経験する別の方法があります。それは実際には起源があり、終わりもあります。そして、植物や動物のように、

この共創されたそれぞれの生命は、経験の装置であり、新しい刺激の知覚であり、それらを同じ現実共存する存在として知覚する人々にとっては、彼らの現在の一部になります。私たちにとって、私たちが共同作成するものの一部です。

しかし、神はどうですか？

私はそれを想像力と呼びます。なぜなら、私は彼を、ここにいるところから、人として理解していないからです。表現、コミュニケーション、存在の時間など、さまざまな意味からです。

力として定義する方が簡単です。ただの力だけでなく、力を生み出す力もあります。これは男性でも女性でもありませんが、私たちが知っているすべてのものと私たちがまだ知らないすべてのものの増殖を促進する力です。

私はまた、ほとんどの場合、自分が見ることができるものだけを信じていた人々にとって、神を信じるには、自分の人間の限界の認識で行われた必要な組織や人々の心配事を分けることが必要だったと思います。

この同じ情報は、集合的記憶の記録として生成された新しい生活に潜んでいて、後でその科学的争いにさえ役立ちました。 今日の人類の成長のためのユニークな瞬間、私にとってはテクノロジーの最も顕著な成長がありました。このように、私は私たちの信仰で行使される新しい要素として、想像力のアイデアを提示します。

選民だけでなく、すべての人を与えられる力。出現、繰り返しの言葉、あるいは不必要な苦しみの人生さえも望まない力。私たちを想像し、それと共創する

ことを可能にする力。

この概念は、歴史的記録で受け継がれる学習のために必要な抽象化を作成しますが、主に、今回の各存在の親密な記録で受け継がれます。社会の未来に、また自分の未来により大きな自由、責任、自己批判、そして自己啓発の可能性を与える。

そこに決していない父、すべてを行い、決して現れない神が付き添うのを避けるだけです。しかし、私たちが没頭している力の観点から、そしてこの内在の中で私たちは従います。

この論理に従って、私たちはこの力が天国にあるのではなく、私たち全員にあり、すべての人とすべての存在にあることを認識できます。

したがって、この力を見つけるためには空を見る必要はありません。空よ

り近いからです。そして、私たちの中でそれを見つけることが不可能であっても、横を向いて他人を見るだけで十分です。それは限られているので、彼が持っている視点ではなく、この現実の外にいる誰かの視点です。もう一方の想像力を求めて、私たちは自分自身を見つけます。私たちは、この短い滞在中にこの時間的・空間的な視点で、そして私たちが身に着けているカバーで、私たちの素朴な位置を自覚できます。

しかし、他人を見るだけでは十分ではありません。他の人はまだこの想像的な力を理解していないかもしれませんが、他人を思いやる必要があります。

人間が祈ることによって神と繋がっていたのなら、今、彼は他人の想像的な力に自分自身を繋げます。

だから、他の人の思いやって、私

は自分を思いやることができる。そして、他の人と私自身を思いやることによって、私が住んでいる社会も思いやることができます。

だからこそ、想像力の概念は、地球上の新しい宗教的人々の精神的構造において基本的な役割を果たすことができると私は敢えて言うのです。

私が理解しようとしているのと同様に、相手の世話をする方法論は、誰もがより簡単に成長できるようになることを理解しようとしています。

これは私が地球上で私を見る人々に長い間言ってきた方法です：

「私たちの宗教は他者です」。なぜなら、想像力は他人にあるからです。

共依存の関係は慎重であるという素朴な見方がないことは言及する価値がありますが、実際にはそうではありません

ん。 自分自身と周りの人々のために、ケアを人生に変えようとする事は、それぞれの存在の利益になります。

もちろん、世界の無能も含めて。

それなら、他の人々の想像力になり、彼らがとても求めている神になりなさい！

第2章-自己および社会的行動の誤った見方

尊厳を持って、この他者への愛、この運動、この行動、「他者」の中に住む想像力への愛情の投資を行使するには、いくつかの非常に重要な問題を理解する必要があります。

まず第一に、私たちの世話をせず誰かの世話をすることは不可能です。したがって、自分自身を理解することが必要です。

私はこの自己認識の最初的手段として瞑想の提案を持ち込み、あなたが何を改善する必要があるかを観察し、読み、受け入れ、理解し、そして何を改善できるかを確認してください。また、すでに学んだことを観察し、この成果を祝福してください。

あなたの衛生、健康に気を配り、

仕事を探し、常に勉強してください。 あなたの人生が自己保存と威厳のある生存の台本に従わない場合、あなたはどのように他人の世話をすることができますか？

しかし、ファチマは、なぜこれがそれほど重要なのですか？ どうして私はただすべてを捨てて、良いことをするために出かけないのですか？

他人を助ける方法は1つしかないのです。それは自分も助けられる側を学ぶのです。あなたのプライドがあなたの社会的行動よりも大きい場合、それは限られた方法でそれを必要とする人々に届きます。

瞑想では、あなたは本当に必要なものを理解することができ、助けを求めることができ、それを提供する人々からの助けを受け入れることができます。も

う1つのポイントは、振り返ることです。他の人を助けるためにすべてを忘れている人は、通常、自分から逃げています。

社会的行動の実際的なアイデアは、食べ物、無料のヘアカット、きれいな服だけでなく、あなたの中にある小さなものだけでなく、あなた自身の少しを他の人に残すことです。あなたのやり方、話し方、抱きしめ方、生き方。

あなたの助けを受ける人々の生活に本当の違いをもたらすのは、この「ケーキの上のチェリー」です。

しかし、自分をそのまま受け入れないのなら、どうすれば他の人に自分を連れて行くことができますか？

現在の世界には慈善の誤った考えがあります。

ベニアは、話すときも着飾るときも、聖なるように振る舞う傾向があり

ますが、想像力は聖ではありません。それは悪魔ではありません。それは力です。強力で想像的であり、誰かがあなたの行動を決して判断しないでしょ。そのため、与えることの最も重要な部分はあなた自身、あなた自身です。

ここに、簡略化された形で、善の行動の基本法則があります：

- 1自分のケアをしてください。
- 2助けを受け入れてください。
- 3他人を助けてあげてください。

肉体的または精神的な無能力のために、肉体的な生活の中で常に私たちが必要とする人々がいます。これらの法律は次のとおりです。常によく気遣いをすることです。

私があるあなたにもたらず視点で、私は思考の種を残します。過激主義から逃れ、人を助けるために自分のことを忘れ

ている人でも、自分のことだけを考えている人でも。

しかし、軽く、謙虚で、セルフケアの良識であるということは、彼らの可能性と時間の範囲で、それを必要とする人々を助けます。

地球には生命が住んでおり、この生命には人間がいます。 聖人でも悪魔でもありませんが、尊敬と愛を扱うとき、同じ調和で対応することができる人間です。

他人の目で自分を正当化しないでください。

他の人の想像力の探求は、他の人が提供できる最高のものに基づいています。他の人の見た目と判断で自分を正当化しようとする試みは、そうでない人の判断であなたの幸せの力を与えるようなものです。あなたを幸せにすることがで

きません。

社会的行動は、この生命哲学が自らを導こうとする基礎です。

媒介から生じる現象にとって、これらはマイナーであり、慰めるのに役立ちます。現象自体によって観察された場合は役に立たないです。

社会的行動で他人にある想像的な力を見つけることができます。

「私たちの宗教は他人です」。

第3章-現象と社会的行動

1917年5月、私は自分自身を人間にし、自分と同じくらい古い友達を連れてきました。

おそらく、幻影の実際の状況を明らかにするにはまだ時期尚早かもしれませんが、私は、宗教的範囲に関して原理主義的ではなく、より広い思考の視点をもたらすためにそれを行いました。

私は、科学のおよび哲学的な質問に対する人々の開放性と受容性のために、将来私たちが知っている宗教の死について話しました。私は自由をもたらしたかったのですが、人間は自分の精神によって、興味を持って私のアイデアを利用できるようにしました。

これは信仰の分野での私の最初の機会でもなく、私の考えが歪められたの

も初めてではありませんでした。

出現の現象は、アイデア自体よりも蔓延していました。それは人々を世話するためでしたが、時間は短いです。人々の現実に変化をもたらす可能性のある行動についての非常に多くの提案の中で、

社会的支援の文化を想像するために、障害者にスキルを身につけ、子供たちを教育します。特に抑圧された人々に。

今日まで、現象は達成できる善よりも多くの関心をもたらします。

今日の媒体、起こり得ることのビジョン、不治の病を治す人々、肉体的な来世からの手紙やメッセージをとらえる精神的な通訳者になりましょう。私はあなたたちが重要であることをよく知っていますが、慰めのためです。

科学者や専門家の役割をすべての知識分野から排除することは絶対にしないでください。

しかし、その現象が正当な慰めを生み出さない場合、それは常により多くの現象を持っているという好奇心の要求に没頭するようになります。

しかし、なぜファチマ？ 現象はそれを見る人々の虚栄心の鏡の現れであるため、それが未熟な人々になると。

成熟した人になると、彼は経験を良いものに変え、人々の幸福を促進する行動に変えます。

しかし、子供っぽい見た目になると、それは常に自分の利益を満たす方法を探します。

「いつ結婚するのか」、「現象の情報が身近な富に役立つのか」、「他の人の前で成長するのか」などです。

私は、成熟した人間の存在が強力な現象だと思います。まず自分自身のケアをし、家族やその周りにも気を配り、特にこのケアが世話をされたものの欲求を生み出すとき、

彼が他の人の世話をすることができ時間を作るのを見ることほど強力で本物の現象はないと信じています。

利己的な世界では、この成熟に達した人々は聖人と見なされます。なぜなら、子供っぽくて利己的な人は自分の要求に応えたいので、他人に善を要求することは決してないからです。

集合的な方法で、私はあなたが取り巻くこの時間的視点で、集合的に刺激することができ、集合的なケアの文化を正常化することができる、本物の自立した社会的行動を刺激することを求めます。

したがって、私がおもたらすこの観点では、それぞれの存在の良好な発展のために2つの基盤が必要になります。

1-哲学の研究では価値があり解放的で、自己批判的、ささいな利益からはほど遠い哲学。

2-社会的行動の実践。 なぜなら、調査を通じて、新しい質問の分析と出現のためのレパートリーを収集するからです。

人類はまだすべての質問をすることさえできず、おそらくすべてに答えることができないので、疑いが必要であり、人類のすべての質問に答える探求は非常に無駄で支配的な心のコーティングであると私は信じています。

1つの哲学、宗教、または教義がすべてに答えることができると人々が感じる場合、彼らは落ち着きます。

知的に静まるのは存在の死です。
それどころか、私は落ち着きのなさ、発見の探求を求めています。理由を説明します。人間の脳のどの領域が幸福として知られているものを刺激するのに最も強力であるかを研究すると、それが新しい学習、新しい知識に関連する領域であることがわかります。存在から発見への欲求を撤回することは、その存在を奴隷にすることです。

私が求めているのは解放者であり、熟練者ではありません。考えて、あえて考えて、常に学びましょう。このようにして、あなたはあなた方一人一人に内在する想像力を称賛するでしょう。

行動中の愛の現象を探し、あなたのために生じるこの愛の共創の瞬間を大切にしてください。なぜなら、「私たちの宗教は他人にある」からです。

第4章-感謝

謙虚さと常識を働かせるだけでなく、ご好評をいただいている方々に感謝するとともに、仕事が成功したことをお伝えします。

あなたに感謝する必要がないという口コミを繰り返す無駄な人々がたくさんいます。しかし、彼らは自分自身の中で、無駄にならない方法を探し、無駄にならないようにすることができないため、

彼らは彼らが望むことを達成するために助けられている人を条件付けます。また、このように、彼らは助けられている人を屈辱し、行動に彼を条件付けることを忘れています。彼が望むように彼に話させたり表現させたりすることができなくなります。

多くの教義と宗教によって生み出された条件付けと罪悪感の文化は、何千人もの人々を本物の人形に変え、選択を投げかける行動を実行しました。彼らは自由意志を抑制し、個人的な成長のために心を停滞させました。

天国の小さな場所を手に入れるための掘り出し物で、これらの人々は自由に行動するのをやめました。そして、社会開発を含め、誰もが負けました。

私たちの観点からは、誠実なときに感謝するという行為は、彼らの仕事がかうまくいったことを恩人に知らせるジェスチャーとして見えています。その努力がその目的を達成し、このように助けられたことは、制限されていて、

それがうまくいったことを学ぶときにも役立つ可能性があります。刺激があり、恩人はより多くの人々を助けるこ

とに戻ります。善は根を下ろし、ホルモンのオキシトシンの維持はすべての善のためにうまく行われています。

これらの単純な反省では、過激主義を提案しません。すべてに感謝することは、現在の現実の視点であるように思われます。

都市を破壊した混乱に感謝する方法、あるいは長い間奴隷制と人種差別に感謝する方法はありますか？

誰かに悪や悪を行ったことに感謝するように条件付けることは、彼を馬鹿にさせることです。理由と論理の欠如しています。

ここではクリエイティブフォースについて話します。髪がなびく風の強さと、木を倒すことができる強さのことなどです。

神がすべてを見ていることを認め

ることは、助けを必要としている人々を見て何もしない神に憤慨することです。私たちは想像力が他人にあると信じているので、この力、この新しい神または女神は、存在を構成しない何かによって表され、他の行動に現れます。私たちが他の誰かであるところで、彼の人生に変化をもたらすエージェントになります。

私たちはこの人の想像力になります。

街を破壊した混乱は感謝できません。それは人々を殺害することは計画されていませんでした。しかし、人々は互いに助け合ったことは本当です。そして、私たちは他の人々から、想像的な力から受けた助けに感謝することができます。そして、生成されて実践された愛によってそれ自身を再確認します。また、今日でも多くの人間を奴隷にし、人間や動

物を奴隷にしてくれた人々に感謝することはできません。しかし、私たちは人種差別に反対している人々に感謝することができます。私たちは動物の命のために戦う人々に感謝することもできます。

私たちはこれらのエージェントになることもできます。奴隷制に感謝することは、同じ虐殺の共著者になることです。

私たちはそれをこのように残します。

感謝の気持ち=優しさの作者への刺激=謙虚さ=達成された善の新しいサイクル。

しかし、それは、他の人の痛みや苦しみを助長するものも含め、私たち自身の痛みからも、すべてのものに感謝することとは異なります。

私を読んでいただきありがとうございます

ざいます。私はあなたのアイデアの中で存在し、共存し続けるので、あなたがテキストについて持っている時間と解釈に感謝しています。私たちはアイデアの総和になります。

私たちの宗教は他者です！」という理由で、私はただの考えではなく、もっと多く、たくさんなことができます。

第5章-家庭での子供と社会的行動

私にとって、私がいるところから、地球上の新しい生命の間での移住の可能性は現実の領域にあります。しかしあなたに関しては、それは信念です。私はこの章でこの視点を使用します。

今私を読んでいる人にとって、おそらく生まれ変わりへの信念は自然に来なければなりません。だから、私は尋ねます。生まれ変わりが本当に存在するのなら、なぜ私たちは生まれ、授乳し、再び話すことを学び、再び歩き、

思春期のすべてのホルモンの発生とこの段階に伴うすべてのトラウマと困難を経験する必要がありますか？ 他の人生で生きていたものすべてを覚える方が簡単ではないでしょうか。

そして、私はあなたに言います。

私は完全に同意します。私たちが生まれ変わるたびにこれらの段階を読み直すことは、学習の焦点が知的だけであるならば、確かに不必要ですが、実際にはそうではありませんでした。

知的発達とは自然に起こり、この発達の機会があります。

しかし、私たちが求めるものは、生まれ変わりにおいて、他者との関係に関連しており、自分自身を見たり、他者を見たりするときの自分自身の見方に関連しています。隣人がガンにかかっている間、一生をかけて問題を訴える人がいて、決して彼と話をすることはありません。

あるいは、同じ家に住んでいる親戚でさえ、耳を傾け、彼らを助けるために何もしなかったです。

人生の中で、他の人に少しの愛情

を与えたり受けたりすることができない場合、情報や新しい科学的発見を保存することに専念する人生は何が良いでしょうか？

それで、私たちの生活の中で愛情を受け取り、与えるための最も重要な瞬間は何ですか？ 他の人生からの私たちの選択が子供時代の段階で忘れられていました。私たちの新しい両親は私たちが誰であったかを覚えておらず、私たちも覚えていません。

この機会に私たちは新しい生き物として見られ、そこで私たちは信頼することを学ぶ機会があり、家族環境における愛の重要性を学びます。

このように、この本を読んだ大人はこの情報を生かすでしょう。なぜなら、子供たち、特に屋内にいる子供たちの世話をするとき、彼らは強力な社会的行

動をとるからです。世界のために新しい存在を準備します。

あなたがあなたの前に作った世界とそれだけで私たちが変わることはできませんが、新しい社会的行動の生成者であり、この愛情の強力な種を残すことができる子供を作ることはできません。

そして、多くの人と同じ自然学習の状態にある場合、両親や彼らを教育する人々の愛を受け、社会は徐々に変化する可能性があります。

ですから、自分自身の世話をし、他人の世話をします。この場合、あなたに非常に近い子供は、あなたが住んでいる社会の世話もします。

多くの子供たちが主に家族の環境で虐待されているので、想像力と神の視点を反映するために持って来る別の質問も重要です。

人々のために、すべてを見て、すべてを解決する神のイメージはすぐに疑問視されます。

神はどうしてこの邪悪さを見なかったのですか？

しかし、想像力があり、それが私たち一人一人に内在していることを理解するとき、私たちは他の人の人生においても神の姿であることに気づきます。恐れ、失敗しましたが、私たちもこの想像力の一部であると理解したとき、

私たちは知覚の別の段階を開始します。そこでは、社会の子供たちに対する多くの凶悪な犯罪の解決も私たちの責任です。

私たちは積極的に参加して、これらの虐待が決して起こらないようにし、それが過去の犯罪であるというこの無責任な見方を完全に残さなければなりません

ん。他の生活のどこで子供は同じようなことをし、今それを払っています。

虐待を見逃している場合、その臆病さにおいてさえ非常に残酷であるため、過去からのこの罪悪感の考えを使用した直接の攻撃者の決定は、攻撃者の責任を最小限に抑え、虐待された方の痛みが増します。

この場合の社会的行動はそれ自身の行動ですが、この精巧な責任のメカニズムはありませんが、事実を理解することによって、世界を観察し、選択によってそれを変える人々の成熟によって変わっていきます。

知って欲しい、あなたは困っている人の想像力であり、あなたの現在の存在における愛、愛情、方向性、教育の想像力を得られたように。

子供の世話は、実際、社会の構築

における基本的な要素です。世話をすればするほど、将来、愛情深く公正な社会になる可能性が高くなります。

したがって、子供たちは、家族が生み出すことができるすべての感情的な装置だけでなく、彼らの生存のためのすべての基本的なケアをしなければなりません。

「私たちの宗教は他者です。」

第6章：私たちは良いことについて話すべきか、話すべきではないか？

関与するすべての社会的行動には、常識、論理、責任がなければなりません。

それを考えると、実際に、そして非常に要約された方法で、それは不足を確認し（衣服、食べ物、専門的な訓練、指導など）、誰が助けられているか、または私たちに依存することなく、この需要に応えようとするのです。

私たちは助ける人の役割を担っています。

ただし、一定の要求に応えるためには、寄付などの衣服や食べ物が必要です。

この需要を単独で満たすことができる場合、これはあなたと受信者に関連

する活動である可能性があります。

そして、それぞれのケースが異なるケースであるため、私は「多分」という単語を使用します。彼が望んでいない限り、私は援助者の露出があってはならないと信じています。

ガンジー、マザーテレサ、チコザビエルなどの場合のように、現在の文化や現実が助けを促進するために露出を求めない限り、私たちは助けに直接さらされるべきではありません。

誰かが神から来たと言った規則に従い、行動するように訓練された、飼いならされた「羊」のように行動しなければならないと私が言うことを期待しないでください。この視点は、哲学と存在の自由を愛する人からは得られません。

しかし、他の人々の尊厳と評判を傷つけないように、責任を持ち、合理的

で、他の人に対して慎重で、論理的であることをお願いします。 また、社会的行動においても、私たちは自分の目標に正直であり、

この行動を実行するために私たちを導くものを理解する方法を知っている必要があることを理解してください。

行動の前、最中、後のあなた自身のこの視点は、あなたが生命を生み出すフォースの振動と同等の振動にあなた自身を立ち上げることを可能にします。

強さとして虚栄心はなく、強さとして制御はなく、強さとして事実の歪みはありません。

この視点の同等性は、私たちが先に述べたように、善で行動することは単に他人に自分を投げつけることではないことを理解することを可能にします。

この同等性により、流れが作られ

ます。水のように流れる。社会的行動のエゴイックな視点に錨を残さずに、まるでそれが私たちを存在として定義したかのように、しかし私はあなたの時代の現在の宗教的現実には異常な視点をもたらします。

収集された食料や衣服など、社会的行動のために発生および取得されたりソースがあなたのものでない場合、あなたは社会的行動の管理者になります。行動の機能は次のとおりであるため、取られた行動を説明する必要があります。

他者に欠けているものを返します。

彼が私たちなしで歩いたり、走ったり、飛んだりできるように彼に供給してください。しかし彼がいつでも戻って来れるようにします。

この倫理的現実において、私たち

ができないことは、援助された人を拘束したり、社会的行動の目的を歪めたりすることです。

将来の社会的行動を前進させるためであっても、説明責任は最も重要です。

最後に、メディアは非常に説得力のある心理的な装いを提示しました。

そしてそれは、目的のない恐怖、怒り、憤慨を強めることから成ります。あなたはめったに焦点の合った良いものを見ません。

他の人からの恥ずかしさや自己宣伝がない場合、広く知られていることは、他の人が同じことをうまくやる理由を与える脳の領域を刺激します。

他のオーブでの善の実践とあなたとは異なる現実の視点は一般的な実践です。習慣の結果として自分自身を理解することです。

不平を言うだけでは何も起こらないので、自分の手段の範囲内で社会的行動を実行し、善を行うことに慣れてください。

あなたが期待する行動であり、倫理的な方法で世界に示し、彼らがどのように実行できるか、あるいはあなたが現在行っていることよりもはるかに優れていることを示してください。

祈りの行動において、祈りは活力を与え、祝福し、落ち着かせます。しかし、非常に要求されている世界を変えたのは行動です。したがって、私たちは変化のエージェントになります。

私たちは、私たちの中に「住む」想像力を強化し、それを、よく実践され、見られる「習慣」を通して取り戻します！「私たちの宗教は他者です！」

第7章-善良な人々を聖人にしないでください

地球上の現在の現実では、自分自身に対する唯一の関心事のカルトが幸福の基礎であると考えられています。

しかし、この見方は、公正で社会を助けることの構築において、幼稚で非生産的です。

私たちは社会の一員であり、助けられ、他の人々を助けることを決して忘れずに、自分自身の世話をしなければなりません。一人一人がこの偉大な社会構造の一部であり、

その維持にとって重要であるため、当然のことながら、私たちはこの社会的現実における他の人々の選択によっても影響を受けます。行動することを選択しないという彼らの願望を含みます。

そして、この狂信的な準宗教的カルトの中で、壊滅的な結果は、私たちが知っているように、私たちだけが世界が存在し、それ自体を維持するのに十分であるというファンタジーに浸った冷たい社会から得られます。

この論理に従うと、社会的行動を実行し、他の人々に役立つことを望んでいる人はほとんどいません。そして、善行者の不足の中で、善を行う人は、この善人の定義が聖人になることを理解しています。

なぜなら、他人を助ける人が不足していると、善人はまれになるからです。

したがって、この文脈では、彼は聖人として、既知の「人間性」を超えた誰かとして理解されます。

他人の世話をすることを忘れるこ

とで、人類の概念の理解そのものが変わることに注意してください。

すべての人がこのように行動するとは思わない。私はこのユートピアを持っていませんが、愛情、ケア、パートナーシップ、愛の信用を傷つけることは、社会の成長に解決策をもたらすことはありません。

他人の世話が現在の社会の世話を反映していることを理解する人が増えるほど、愛を実践する可能性がより強く明らかになり、地球のすべての住民の成長に必要な解決策がもたらされます。

誰もが利益を得るためにそうする必要はありませんが、多くの人々が誰もが利益を得るために行動する必要があります。また、自分を善と表現するすべての人が実際に善であると理解するべきではありません。

現実のゆがみを持ち、他の人の目に自分自身を正当化しようとする人さえます。他人の目に自分を正当化するというこの探求は、他人を気遣うことではなく、個人的な必要性を維持することです。

この善の誤った概念は、行った本人と、助けを受けるか方に影響を及ぼします。

善良な人々は、1つの基本的な問題で差別化を図っています。彼らは決して止まることはありません！ 攻撃されたり、不当に扱われたり、迫害されたり、屈辱を与えられたりしたときでさえ、継続する力が彼らにあるので、彼らは決して止まりません。

生み出す力を持っており、より良いものを生み出し、変容させることができます。

私たちは二価の存在であり、善と悪の概念は単なる視点です。

神聖さのようなものは本当にありません。継続的な努力があります。

善良な人々を聖人と混同することはできません。なぜなら、彼らは他の人々の助けも必要とし、それが宇宙を動かすからです。

すべてのオーブの影響を受けた重力の下で、一人一人の存在の選択の強力な力の下です。

「私たちの宗教は他人です！」という理由で、他の存在の台本を変える感情的な視線の超越の下です。

第8章-あなたは羊ではありません、あなたはあなた自身です

知識の保持をめぐる激しい論争の中で、レパートリーと習得した学習に加えて、多くの人々は、歴史的な文脈と特定の文化や言語からの解釈で、彼らの議論を支持するためにスピーチを終了します。

この観点では、善良な人々が羊と比較される聖書のテキストで構成されているのも同じです。

悪に対して地球を守る人々は、反応できない群れの要素と比較され、異なった考え方をします。

この観点から、個人的な利益のためにイエスの教えをコントロールしたいという願望、意欲があり、善良な人々と反応しない人々、何も言わない人々、沈

黙を守る人々、自分の主張を擁護しない人々を配置し、羊はこの悪を止めるために何もしないからです。

この視点は危険であり、それは多くの害を許します。

何千人もの空腹の人々、何千人もの失業者、不十分な教育に翻弄された何千人もの人々、そしてイエスの羊は、悪に反対してはならないので、多くの悪を受け入れて沈黙します。

私にとって、この考え方は惑星の成長を遅らせただけです。

私がいるところから来た私たちの多くにとって、この考え方は、専制君主がさらに支配するために必要な場所にいる善良な人々を減らしただけです。

あなたは羊ではありません、あなたはあなた自身です。 あなたが何になることを受け入れたのか、あなたは何にな

ることができるのか、しかし多分、あなたはまだまだ多くのことを学び、社会的行動をし、

あなたの周りの人々の生活を変えるチャンスがあります。

あなたが望むならあなたも羊になることができますが、この文脈では、あなたは彼らの生活の中であなたの直接的な行動を必要とするかもしれない何千人もの人々の生活に影響を与えることを知っています。

少なくとも、何らかの不正や悪が確立されたいとき、あるいは無知が個人や社会の悲しみの源であるときでさえ、沈黙することを拒否する方法です。

想像力は全体主義的な行動を完全に欠いていることを常に覚えておく必要があります。それは、動き、存在するすべてのものが想像の中にあり、自分の中

で悪い話し方や悪い行動をしているからです。

私たちは自由に想像ができます。陸、海、空は常にすべての人のものでした。権力、領土主義の概念は、分裂し、殺され、破壊され、今日地球上で見られる文脈につながったものですが、それがそれ自体を再構築する場合、

この文脈は変わる可能性があります。

この一時的な文脈でのあなた自身の理解の仕方は、あなたの人生とあなたの言うことやすることの分野を占める人々の人生に違いをもたらすものです。

平和が本当に確立されるためには、羊飼いや羊ではなく、鳥がいる必要があります。

この哲学は、熟練者ではなく、自由を求めています！ したがって、思考と

行動は自由であり、「私たちの宗教は他人です！」

第9章-精神的奴隷

宗教、教義、人生哲学が人類のすべての質問に答えようとするとき、それは人類がそのような説明に必要なすべての質問をまだすることができないという明確な現実を激しく非難します。

この探求の提案は必然的にそれ自身の約束の失敗をもたらします。したがって、私たちは別の方法で、主に、自分自身を提示し、人類に苦しみをもたらす困難に焦点を当てることを目指しています。

人々が餓死する間、人々が路上で生活する間、女性が配偶者に襲われる間、人々が臓器市場や小児性愛や性風俗産業のネットワークで誘拐されて売られる間、他の多くの残虐行為の中で、これらの問題は、もはや地球上でもうあっては

ならないです。

社会において、これらの要求の部分的であっても忘却を促進するアイデアは、人々を助けるのではなく、奴隷にします。

彼らは人々をロマンチックな視点で奴隷にし、彼ら自身のための即時の解決策、真の偽りの宗教的、自我の台本があるだろうと言います。

そして、しばしば、それを経験する人々を、まるでそれが十分に食べることができないことに対する誰かの責任であるかのように非難します。健康な人が空腹を望むことができるかのように。

そして、精神障害の場合でも対象になります。私たちのケアや愛で人々を助けることができます。

これらの宗教的観点で行使される精神的奴隷は非常に強力であるため、そ

の信者は自発的に離れられないです。それは、あの市民が自分たちと同じ信念や人生観を持っていないからです。

哲学と社会的行動の研究のように、私たちが2つの確固たる基盤を持っているとき、私たちはこの観点から自分自身を養いたい人々に読書の巨大な範囲の可能性を与えます。

理性主義者、経験論者の著者の間で、宗教的な観点を持っているかどうかにかかわらず、誰かが私たちのアイデアに同意しないという単純な事実のために、アイデアについて話し合い、評判を決して破壊しない可能性を与えてくれます。

哲学の自由な研究は、この人生哲学の学生が想像力とつながる方法を自由に選択する可能性をもたらします。しかし、はるかに大きな何かが私たちを団結

させ、言語、文化、信念、地理的位置、
行われた善を超越して、

地球上の心理的および身体的生活を維持します。

社会的行動は、まさにその理由から、それを実践する人々を刺激する変革指導者であり、社会的弱者が考慮されていない間は、神についての信教的なスピーチの可能性は決してないことを理解し、より安全で、敬意を持った、倫理的な未来の新しい種火です。

だから「私たちの宗教は他者です
！」

**第10章-あなたが受け取ることができるもの
の強さはあなたが与えるものの強さに
あります**

最も寛大な社会的行動の1つは、衣服の寄付です。

衣類は、布地、縫製、数量など、誰が高貴であるかを識別する方法でした。

誰かが自分に合わなくなった服を他の人に寄付することを決めたとき、彼らは他の人に合ったシャツ、ズボン、靴を残すことにします。理想的には、衣類の寄付を受け取る慈善団体は、それらを販売しないでください。

慈善団体を支援するために安い価格でさえ販売しないでください。寄付する行為が崇高であり、寄付をした人のエネルギーを受け取り考慮する必要があります

ます。

服を受け取った人は誰でも、それを寄付した人が、その服が彼にとって、彼女にとって役立つだろうという明確な意図を持って寄付するでしょう。

寄付する人は愛情を込めてして欲しいです。この意図は、服を受け取る人に届きます。

また、他の人が着られない服を寄付しないでください。受け取る人は、寄付する人と同じくらいのステータスな市民であるため、衣服の状態は良好でなければなりません。このように、すでに受け取った人のために、寄付、受け取り、再度寄付するという誇り高い運動です。したがって、衣類は寒さから守るために必要なものにすぎないことを理解しましょう。裸で生まれた体を着飾り、最後の服を選ぶ特権なしに死ぬでしょう。人

間がグループを平準化する手段として服を使うとき、彼は完全に間違っています。自分の服が彼らを定義していると思う人にとっては悲しいことです。

私は、この一時的な段階では、地球上で、新しい服や一部の専門分野に固有の服がまだ必要であることをよく知っていますが、それでもそれらを定義していません。

そして、それらを身に着けている人のフィーリングをそれぞれの存在の性格と決定するのは間違っています。

動物はそれらなしで生きています。今でも、動物は同意なしに自分の皮を使って、自分が知的であると考え他の動物に服を着せています。

植物は服を着ません。

人間にとって、服は時間とニーズに必要であり、決してクラスやポジショ

ンなどを決める物ではありません。

自分に合わなくなった服を寄付するときは、相手により良い物を送ってください。

寄付された衣類を受け取るときは、寄付者に愛と感謝の気持ちを送ってください。

そして、この愛の行動の架け橋であったボランティアたちに、善は継続しなければならないので、ぜひ続けてください。

あなたが受け取ることができるものの強さは、あなたが与えるものの強さにあります。

「私たちの宗教は他者です！」という理由で、これが私たちの見方です。

第11章-社会的行動は哲学の研究によって導かれなければならない

社会的行動の学習が徐々に、心の正常化の日常的な状態に移行できるように、哲学の研究は一定である必要があります。

社会的行動の実践が標準化された行動の文脈に基づいている場合、それは脳によって自然に行使される活動として解釈されることはほとんどありません。

「慈善以外には救いはない」という格言で与えられた義務の基準は、救われるためには慈善を行う必要があるという義務の考えに起因しています。

誰から救われた？ 誰から？ どこに行くために助けられましたか？

哲学の研究は、多くの著者の思考をもたらし、広い視野を与え、必然的に

、自分自身を研究することを許可する人々の良心の開放に対する観察と批判に基づく構成につながります。

社会的行動は、個人にとって、言語的および非言語的言語が一般的な社会組織のためのものであるべきです。

研究の唯一の理論的構築は、貧しい人々の厳しい現実から距離を置くことができます。社会的行動の実践だけが、次第により良く改善される社会的行動に対する批判を省く教育をもたらすことができます。1つのステップで次のステップを準備します。

社会的行動の組織が多くの尊敬、愛、そして研究と交差しますように。

哲学の研究は常に社会的行動の中で生きた経験の交換で終わることでしょう。

彼らはあなたの家族、そして関わ

ってきた人々はあなたの気取らない愛と
気遣いであなたを認めます。 あなたの顧
客、学生、患者も、あなたが世話をする
他者の範囲内にあります。

私たちがこれらの簡単な文章で持
ってきたのは、誰も気を遣ってくれない
人のために気を遣われるための文章です
。しかし、社会的行動を実践する前に、
自分自身を気遣う必要があります。

勉強し、働き、正直で、シンプル
で、常にあなた自身とあなたの家族のよ
り良い生活のために努力してください。

家族との時間を大切にし、また自
由時間に社会的行動を実践し、哲学を学
んでください。実践され研究されたこれ
らの同じ要素は、あなた自身の人生に力
と希望をもたらします。結局、人生がす
べり落ちるとき、それはあなたの本当の
判断者になる思い出です。

社会的行動を実践し、哲学を学ぶことで、良い思い出ができ、家族や自分自身、自分自身と一緒に時間を楽しむことができるようになります。すぐに、より良い思い出が来るでしょう。

それらはあなたに最後の瞬間に必要な平和を与えてくれる想像力の一部になるでしょう。そして、これらの瞬間が到来しない間は、社会的行動の良い習慣は、あなたとあなたを必要とするすべての人々にとって幸せな日々の基礎になります。

このようにして、想像力は私たちの行動に影響を与えるでしょう。

このように、地球は平和を望むことができるでしょう。

このようにして、私たちは自分たちが実際に何ができるのか、そして何をすべきかを理解できるでしょう。

そして、私たちは相手を見て神と
リンクし、だから
「私たちの宗教は他者です！」

O que é a Filosofia de Fátima?

A Filosofia de Fátima é uma filosofia de vida com base ecumênica e que se divide em dois pilares a saber:

- O estudo da filosofia;
- A prática de ações sociais.

A Filosofia de Fátima se originou na fundação do Instituto do Estudo da Filosofia de Fátima em junho de 2019. Sendo considerada, a primeira filosofia religiosa fundada na cidade do Rio de Janeiro.

A sede do Instituto, conhecida como a Casa de Fátima, realiza inúmeras ações sociais no bairro de Sepetiba na cidade do Rio de Janeiro.

www.casadefatima.org

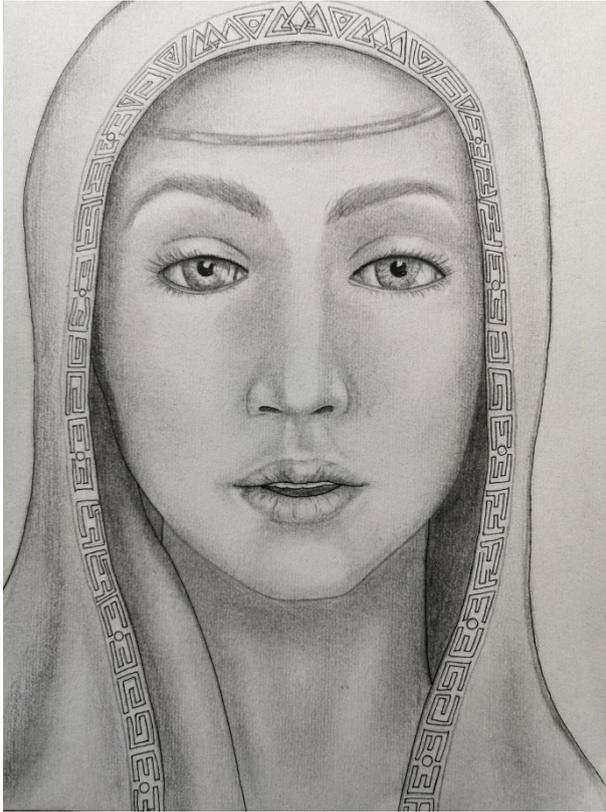
Quem é o fundador da Filosofia de Fátima?

O fundador da Filosofia de Fátima é Fernando Ben, psicólogo, pós-graduado em Saúde Pública, mestrando em Psicologia Social e pesquisador científico do Instituto Brasileiro de Desenvolvimento e Aprimoramento Humano.

A fundação desta filosofia de vida baseia-se em seu campo de fé e tem como foco, o respeito entre as religiões e ao amor ao próximo.

Com esta obra, Fernando Ben doa 25 livros publicados para a Casa de Fátima. Todas as obras podem ser baixadas gratuitamente no link:

www.casadefatima.org/livros



Desenho de Fátima por: Luís Pedro de Castro – aka
Strangelfreak

Esta obra faz parte do acervo do Instituto do Estudo da Filosofia de Fátima – Casa de Fátima IEEF, cedido gentilmente pelo psicólogo e fundador da casa Fernando Bem, de forma gratuita.

Este livro não pode ser vendido de nenhuma forma e nem publicado em outro local sem autorização, sob LEI Nº 9.610, DE 19 DE FEVEREIRO DE 1998.